



こくさいこうろせんちよう
国際航路船長

関釜フェリー株式会社
にしむらまさかつ
西村正勝 船長

Q どうして、この職業を選んだの？

小さい頃から海の近くで過ごしていました。沖合を走る大きな船に憧れがあり、船長になりたいと思いました。

Q どんな仕事をしているの？

下関と韓国の釜山を運航するフェリーで、人と貨物を運んでいきます。船の着岸、離岸の操船、乗組員の教育など、船の総監督をしています。国際航路なので、テロ対策など厳しい国際ルールに基づいて、運航しています。海峡の潮の流れや地域の風を、季節、雲、気圧配置で判断し、最も安全な運航方法を考えることが大事です。



★ 船長を目指す君へ
メッセージ

お客様が笑顔で下船されている時にやりがいを感じます。人が運転する乗り物の中で、船が最も大きな乗り物です。色々な機械を操り、潮の流れや風の動きを読み、自身の経験を生かして運航することが求められます。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

Q どうして、この職業を選んだの？

医療職であった両親の影響で、同様の職業に興味を持ちました。リハビリテーションに関わり、患者様の力になれる仕事をしたいたい、この職業を選びました。

Q どんな仕事をしているの？

理学療法士は病気やケガなどを行った方のリハビリテーションを行う専門職です。今までの生活に近づけることを目指し、起きる・立つ・歩くなどの動作練習や筋力の強化、関節の運動、電気・温熱などの理学療法を行います。私は病院で働いており、患者様は早くから関わることで回復のサポートをしています。

★ 理学療法士を目指す君へ
メッセージ

理学療法士は、病院だけでなく介護施設や発達支援、スポーツなど色々な分野で活躍しています。専門的な知識や技術、相手に寄り添い、思いやる心が求められます。患者様が元気になるまで、やりがいを感じます。



りがくりようほうし
理学療法士

下関市立市民病院
リハビリテーション部
はせちえ
長谷知枝 主任